

土 木 費

	事業名	所管課	頁
1	道路ストック老朽化対策事業(道路附属物等)	道路河川建設課 道路河川管理課	104
2	道路整備事業	道路河川建設課	105
3	地域道路整備事業	道路河川建設課	106
4	緊急自然災害防止対策事業(道路防災)	道路河川建設課	107
5	道路ストック老朽化対策事業(橋梁等)	道路河川建設課	108
6	交通安全施設等整備事業	道路河川建設課	109
7	洪水ハザードマップ作成業務	道路河川管理課	110
8	緊急浚渫推進事業	道路河川管理課	111
9	緊急自然災害防止対策事業(河川改修)	道路河川建設課	112
10	浸水対策事業	道路河川建設課	113
11	急傾斜地崩壊対策事業	道路河川建設課	114
12	都市計画マスタープラン改訂業務	都市計画課	115
13	まちなか再生宅地開発補助金	都市計画課	116
14	駐車場整備計画策定業務	交通対策課	117
15	密集市街地環境整備事業	市街地開発課	118
16	街路整備事業	道路河川建設課	119
17	乃木浜総合公園整備事業	公園緑地課	120
18	新総合体育館整備事業	公園緑地課	121
19	公共交通機関整備推進業務(バス交通)	交通対策課	122
20	民間住宅対策業務	住宅政策課	123
21	空き家対策業務	住宅政策課	124
22	都市景観形成推進業務	都市計画課	125
23	公営住宅等ストック総合改善事業	住宅政策課	126
24	下関駅周辺地区市営住宅等団地再生業務	住宅政策課	127
25	白雲台団地公営住宅等整備事業	住宅政策課	128

事業名	道路ストック老朽化対策事業 (道路附属物等)				
予算区分	一般会計 土木費 道路橋りょう費 道路維持費				
総合計画の体系	第6章 第3節 道路・橋梁等老朽化対策の推進				
担当課名	道路河川建設課 道路河川管理課	開始年度	平成17年度	決算書	161頁~162頁

1 事業の概要・取組

概要	市民生活や社会・経済活動の基盤となる道路ストックの老朽化対策を推進し、計画に沿った事業進捗を図る。
令和2年度の主な取組	道路更新防災等対策事業費補助金等を活用し、道路附属物等の継続的な点検と、この結果に基づいた適切な更新を実施する。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	日本セレモニーウオーク(下関駅前人工地盤)本体改修(バスターミナル部とシーモール前などの一部)及び昇降機改修設計(エスカレーター1基)、道路照明等の点検(照明97基、標識290基)及び道路照明の更新(6基)
今後の展開	日本セレモニーウオーク(下関駅前人工地盤)本体及び昇降機改修、道路照明及び道路標識更新の事業進捗を図る。

3 施設の概要、計画等

【事業計画】


事業名	事業予定年度
日本セレモニーウオーク(下関駅前人工地盤)改修	平成26年度 ~ 令和10年度
日本セレモニーウオーク(下関駅前人工地盤)昇降機改修	令和2年度 ~ 令和7年度
道路附属物(道路照明等)点検・更新	令和元年度 ~ 令和5年度

日本セレモニーウオーク(人工地盤)<改修前>



➔

日本セレモニーウオーク(人工地盤)<改修後>



4 決算情報

(単位:円)

年度	R1	R2			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費	322,618,945	183,619,508	135,197,896	15,351,000	33,070,612
主要な経費	日本セレモニーウオーク(下関駅前人工地盤)改修	284,049,645	102,720,308	89,044,344	13,675,964
	日本セレモニーウオーク(下関駅前人工地盤)昇降機改修		4,950,000	4,950,000	
	道路附属物(道路照明等)点検・更新	27,056,700	75,949,200	41,203,552	15,351,000
財源	国庫・県支出金	167,294,575	90,250,000	62,998,610	10,117,900
	市債	121,300,000	76,900,000	55,400,000	3,800,000
	その他特定財源				
	一般財源	34,024,370	16,469,508	16,799,286	1,433,100

事業名	道路整備事業				
予算区分	一般会計 土木費 道路橋りょう費 道路新設改良費				
総合計画の体系	第5章 第3節 道路の整備				
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成17年度	決算書	161頁～162頁

1 事業の概要・取組

概要	アクセス道路の整備や安心・安全な道路通行空間確保の事業効果や整備優先度、各地域における実情を考慮しながら、道路整備を推進する。
令和2年度の主な取組	社会資本整備総合交付金等を活用し、道路整備を行うことにより、交通渋滞の解消、歩行者の安全確保、アクセス性の向上を図る。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	・小月小島線 L=600m 地質調査 ・延行・郷線他 L=290m 道路改良
今後の展開	小月小島線、延行・郷線他、武久町85号線について事業進捗を図る。

3 施設の概要、計画等

【事業計画】		
路線名	事業内容	事業予定年度
小月小島線	道路整備 L= 600m	平成25年度 ～ 令和9年度
延行・郷線他	道路改良 L=1,100m	平成25年度 ～ 令和5年度
武久町85号線	道路改良 L=1,100m	平成23年度 ～ 令和5年度



延行・郷線 施工状況

4 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		103,249,346	136,713,200	56,837,030	23,830,700	56,045,470
主要な経費	小月小島線	23,836,700	38,097,130	11,591,330	17,830,700	8,675,100
	延行・郷線他	75,629,646	75,741,964	44,540,700		31,201,264
財源	国庫・県支出金	53,286,021	63,351,500	28,710,885	10,518,750	
	市債	44,700,000	63,800,000	24,200,000	11,900,000	
	その他特定財源					
	一般財源	5,263,325	9,561,700	3,926,145	1,411,950	

事業名	地域道路整備事業				
予算区分	一般会計 土木費 道路橋りょう費 道路新設改良費				
総合計画の体系	第5章 第3節 道路の整備				
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成17年度	決算書	161頁～162頁

1 事業の概要・取組


概要	道路整備を行い、安全性・アクセスの改善及び交流人口の増加による地域の活性化を推進する。
令和2年度の主な取組	過疎債等を活用し、道路整備を行うことにより、地域格差の是正を図るとともに、住民福祉の向上を図る。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> 角島大橋線（豊北） L=385m 交差点改良、道路整備 中村長正司線（豊田） L=261m 道路改良 宮迫中原線（豊北） L=300m 測量設計
今後の展開	角島大橋線、中村長正司線、宮迫中原線について事業進捗を図る。

3 施設の概要、計画等

【事業計画】		
路線名	事業内容	事業予定年度
角島大橋線（豊北）	道路整備 L=1,000m	平成23年度 ～ 令和3年度
中村長正司線（豊田）	道路改良 L=1,100m	平成27年度 ～ 令和7年度
宮迫中原線（豊北）	道路改良 L= 300m	平成29年度 ～ 令和5年度



角島大橋線 施工状況

4 決算情報

(単位:円)

年度	R1	R2				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	264,060,740	327,487,297	236,472,539		91,014,758	
主要な経費	角島大橋線	164,670,050	271,219,397	196,914,599		74,304,798
	中村長正司線	42,935,059	51,438,300	35,167,940		16,270,360
	宮迫中原線		4,829,600	4,390,000		439,600
財源	国庫・県支出金					
	市債	263,700,000	327,200,000	233,300,000		
	その他特定財源					
	一般財源	360,740	287,297	3,172,539		

事業名	緊急自然災害防止対策事業 (道路防災)				
予算区分	一般会計 土木費 道路橋りょう費 道路新設改良費				
総合計画の体系	第5章 第3節 道路の整備				
担当課名	道路河川建設課	開始年度	令和2年度	決算書	161頁~162頁

1 事業の概要・取組

概要	災害の発生予防・拡大防止のため、道路に接した法面からの落石や冠水のおそれのある道路等の施設整備を行い、防災・減災対策を推進する。
令和2年度の主な取組	緊急自然災害防止対策事業債を活用し施設整備を行うことにより、住民の安心・安全な生活環境の確保を図る。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・勝山小野1号線 L=260m 落石防護網工 ・安岡・内日線 L=100m 落石防護網工 ・殿敷稲光日野線 (豊田) L= 20m 落石防護網工 (完成)
今後の展開	彦島迫町20号線、長門町8号線、山の口・旭線、長府前八幡町2号線、勝山小野1号線、安岡・内日線、古宿・船越線、清末清末20号線、上保木~中山線(菊川)、白土宮の尾線(豊田)、島戸立目線(豊北)の事業進捗を図る。

3 施設の概要、計画等

【事業計画】			
河川名	事業内容	施工延長	事業予定年度
勝山小野1号線	落石防護網工	L=260m	令和2年度 ~ 令和3年度
安岡・内日線	落石防護網工	L=100m	令和2年度 ~ 令和3年度
殿敷稲光日野線 (豊田)	落石防護網工	L= 20m	令和2年度



勝山小野1号線 施工状況

4 決算情報

(単位:円)

年度	R1	R2			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		138,193,700	64,641,383	72,580,000	972,317
主要な経費	勝山小野1号線	99,553,900	47,631,583	50,990,000	932,317
	安岡・内日線	34,000,000	12,370,000	21,590,000	40,000
	殿敷稲光日野線	4,639,800	4,639,800		
財源	国庫・県支出金				
	市債	138,000,000	64,600,000	72,500,000	
	その他特定財源				
	一般財源	193,700	41,383	80,000	

事業名	道路ストック老朽化対策事業 (橋梁等)				
予算区分	一般会計 土木費 道路橋りょう費 橋りょう維持費				
総合計画の体系	第6章 第3節 道路・橋梁等老朽化対策の推進				
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成17年度	決算書	161頁~164頁

1 事業の概要・取組

概要	市民生活や社会・経済活動の基盤となる道路ストックの老朽化対策を推進し、計画に沿った事業進捗を図る。
令和2年度の主な取組	道路更新防災等対策事業費補助金等を活用し、橋梁等の定期的な点検を実施するとともに、『下関市橋梁等長寿命化修繕計画』に基づいて補修工事を実施することで、市民の安心・安全を確保する。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	橋梁長寿命化 (橋梁補修【設計3橋、工事10橋】)、道路ストック撤去 (橋梁撤去【工事2橋】)、道路ストック点検 (橋梁点検【213橋】)、道路附属物点検 (横断歩道橋【3施設】) を完了した。
今後の展開	橋梁長寿命化 (橋梁補修、横断歩道橋補修)、道路ストック撤去 (橋梁撤去)、道路ストック点検 (橋梁点検及び道路附属物点検) の事業進捗を図る。

3 施設の概要、計画等

- 橋梁長寿命化

道路施設の機能を長期的に維持するとともに、維持管理コストの平準化と縮減を図ることなどを目的に策定した「下関市橋梁等長寿命化修繕計画」に基づいて、補修工事等を行うもの。
計画期間：令和2年度～ (10年間)
- 道路ストック点検

法令に基づき、市道に架かる道路橋、横断歩道橋及びトンネルを定期的に点検するもの。

 - ・ 橋梁 : 1,512 橋
 - ・ 横断歩道橋 : 6 施設
 - ・ トンネル : 2 箇所
(5年間1サイクルで継続的に実施)



4 決算情報

(単位:円)

年度	R1	R2				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	569,378,186	698,840,536	551,166,095	144,497,475	3,176,966	
主要な経費	橋梁長寿命化	367,734,486	566,834,642	421,060,201	142,597,475	3,176,966
	道路ストック撤去	13,077,900	42,071,700	42,071,700		
	道路ストック点検	63,570,817	79,982,730	79,982,730		
財源	国庫・県支出金	286,264,427	385,248,968	277,599,300	105,960,741	
	市債	226,500,000	253,500,000	215,000,000	34,600,000	
	その他特定財源					
	一般財源	56,613,759	60,091,568	58,566,795	3,936,734	

事業名	交通安全施設等整備事業				
予算区分	一般会計 土木費 道路橋りょう費 交通安全施設整備事業費				
総合計画の体系	第6章 第1節 生活安全の推進				
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成17年度	決算書	163頁～164頁

1 事業の概要・取組


概要	交通安全施設等整備を行い、通学路として利用する児童をはじめ歩行者の危険を除去し、安心・安全な道路空間の確保を推進する。
令和2年度の主な取組	社会資本整備総合交付金等を活用し、誰もが安心・安全に通行することのできる通行空間を確保する。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	壇の浦・高尾線 L=70m 歩道整備 (完成)、本村・西山線 L=89m 歩道整備 (完成)、荒小田3号線 L=200m 歩道整備 (完成)、視覚障害者誘導ブロック改良事業 4路線、通学路等速度抑制対策事業 13箇所
今後の展開	高尾・幡生線、吉見新町22号線、宇部線、向洋町3号線、員光・清末線他、勝山秋根本町2号線他、清末西町3号線他、中道線及び視覚障害者誘導ブロック改良事業、通学路等速度抑制対策事業の事業進捗を図る。

3 施設の概要、計画等

【事業計画】			
	路線名等	事業内容	事業予定年度
社会資本整備総合交付金事業	高尾・幡生線	歩道整備 L=1,500m	平成24年度 ～ 令和6年度
	吉見新町22号線 (尾崎踏切)	歩道整備 L=100m	平成29年度 ～ 令和3年度
	宇部線 (高磯折第1踏切)	歩道整備 L=500m	平成30年度 ～ 令和8年度
	壇の浦・高尾線	歩道整備 L=2,100m	平成19年度 ～ 令和2年度
	本村・西山線	歩道整備 L=100m	平成27年度 ～ 令和2年度
	荒小田3号線	歩道整備 L=200m	令和2年度
	向洋町3号線	歩道整備 L=300m	平成24年度 ～ 令和3年度
	大学町・熊野線	歩道整備 L=200m	平成28年度 ～ 令和4年度
	勝山秋根本町2号線他	カラー舗装等 対策エリア A=35ha	令和2年度 ～ 令和4年度
	清末西町3号線他	カラー舗装等 対策エリア A=28ha	令和2年度 ～ 令和5年度
	中道線	歩道整備 L=400m	平成26年度 ～ 令和5年度
	員光・清末線他	歩道整備 L=200m	平成28年度 ～ 令和6年度
	山の田中央町8号線	歩道整備 L=400m	令和2年度 ～ 令和6年度
	視覚障害者誘導ブロック改良事業	視覚障害者誘導ブロック整備	令和元年度 ～ 令和3年度
通学路等速度抑制対策事業	横断歩道カラー標示、路側整備等	令和元年度 ～ 令和3年度	



本村・西山線(完成)

4 決算情報

(単位:円)

年度	R1	R2			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費	263,645,497	480,735,827	329,029,053	116,287,200	35,419,574
主要な経費	高尾・幡生線	62,421,306	76,885,479	71,842,210	5,043,269
	吉見新町22号線(尾崎踏切)	16,515,482	73,075,225	59,663,440	12,358,300
	宇部線(高磯折第1踏切)	10,262,000	58,396,550	23,568,370	31,000,000
財源	国庫・県支出金	116,186,371	243,831,776	175,403,474	59,700,088
	市債	118,700,000	206,300,000	127,500,000	52,400,000
	その他特定財源 (基金繰入金)	4,000,000	5,000,000	5,000,000	
	一般財源	24,759,126	25,604,051	21,125,579	4,187,112

事業名	洪水ハザードマップ作成業務			
予算区分	一般会計 土木費 河川費 河川総務費			
総合計画の体系	第6章 第6節 河川・海岸環境の整備			
担当課名	道路河川管理課	開始年度	令和2年度	決算書 163頁～164頁

1 事業の概要・取組

概要	平成27年の水防法改正により、山口県が想定し得る最大規模の降雨を前提とした洪水浸水想定区域の指定を行ったことから、平成20年に作成した洪水ハザードマップの更新を行い、河川の周辺住民等に周知を行うもの。
令和2年度の主な取組	令和2年3月～9月に洪水浸水想定区域の指定がおこなわれた綾羅木川・友田川・武久川・木屋川・田部川の洪水ハザードマップを作成し、河川の周辺住民等へ周知を行う。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	洪水ハザードマップ作成河川数				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R3年度)
目標値(河川)			5	3	8
実績値(河川)			5		
達成率(%)			100.0%		
評価(A～D)			B		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
 C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	綾羅木川・友田川・武久川・木屋川・田部川の洪水ハザードマップを作成し、河川の周辺住民等へ周知を行った。
今後の展開	令和3年3月に山口県が洪水浸水想定区域を指定した神田川・川棚川・栗野川の洪水ハザードマップの更新を行い、河川の周辺住民等へ周知を行う。

4 参考情報

--

5 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2		
			予算現額	決算額	翌年度繰越額
事業費			17,209,990	17,162,270	47,720
主要な経費	委託料		16,630,790	16,630,790	
	報償費		475,200	475,200	
	旅費		104,000	56,280	47,720
財源	国庫・県支出金		8,000,000	8,000,000	
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源		9,209,990	9,162,270	

事業名	緊急浚渫推進事業			
予算区分	一般会計 土木費 河川費 河川維持費			
総合計画の体系	第6章 第6節 河川・海岸環境の整備			
担当課名	道路河川管理課	開始年度	令和2年度	決算書 163頁~164頁



1 事業の概要・取組

概要	土砂堆積や樹木等の繁茂により、断面が著しく阻害され、通水機能が低下し、早急な対策が必要な河川について、浚渫工事を実施し、通水機能(断面)を確保するもの。
令和2年度の主な取組	令和2年度については、通水機能の低下が著しく、人家や道路等への影響が大きい3河川の浚渫を実施した。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	才川、真菰川、湯谷川の3河川の浚渫工事を実施し、年度内に完成した。
今後の展開	令和3年度は16河川の浚渫工事を予定しており、令和4年度以降については、38河川について、実施していく。

3 施設の概要、計画等

○ 施設の概要	準用河川：12河川 普通河川：45河川	着工前	完成
○ 事業計画	令和2年度：3河川 令和3年度：16河川 令和4年度：9河川 令和5年度：12河川 令和6年度：17河川		

4 決算情報

(単位:円)

年度	R1	R2			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		30,500,000	25,992,076		4,507,924
主要な経費	工事請負費	30,000,000	25,492,500		4,507,500
	事務費	500,000	499,576		424
財源	国庫・県支出金				
	市債	30,500,000	25,900,000		
	その他特定財源				
	一般財源		92,076		

事業名	緊急自然災害防止対策事業 (河川改修)				
予算区分	一般会計 土木費 河川費 河川新設改良費				
総合計画の体系	第6章 第6節 河川・海岸環境の整備				
担当課名	道路河川建設課	開始年度	令和元年度	決算書	163頁~164頁

1 事業の概要・取組

概要	災害の発生予防・拡大防止のため、河川護岸の整備を行い、防災・減災対策を推進する。
令和2年度の主な取組	緊急自然災害防止対策事業債を活用し、河川護岸の整備を行うことにより、住民の安心・安全な生活環境の確保を図る。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> 田中川 L=28m (完成) 江良川 (豊浦) L=26m (完成) 中川 L=71m 堂道川 (豊浦) L=19m
今後の展開	中川、小月京泊水路、稗田川、寺田川(菊川)、迫川・花瀬川(以上豊田)、堂道川・沖田川・井尻川(以上豊浦)、小森江川・おはち川・赤崎川・小野川(以上豊北)について事業進捗を図る。

3 施設の概要、計画等

【事業計画】					
河川名	事業内容	施工延長	事業予定年度		
中川	護岸工	L=200m	令和元年度	~	令和3年度
迫川 (豊田)	護岸工	L=140m	令和元年度	~	令和3年度
小森江川 (豊北)	函渠工	L= 11m	令和元年度	~	令和3年度
田中川	護岸工	L= 28m	令和元年度	~	令和2年度
寺田川 (菊川)	函渠工	L=229m	令和元年度	~	令和3年度
江良川 (豊浦)	護岸工	L= 25m	令和元年度	~	令和2年度
堂道川 (豊浦)	護岸工	L= 67m	令和元年度	~	令和3年度
沖田川 (豊浦)	護岸工実施設計	L= 18m	令和2年度	~	令和3年度



中川 施工状況

4 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		38,900,000	286,040,600	134,467,379	147,533,515	4,039,706
主要な経費	中川	8,697,700	52,236,785	26,797,300	23,580,000	1,859,485
	迫川	7,069,500	57,300,000	22,530,000	34,770,000	
	小森江川	5,050,000	22,874,379	9,394,379	12,980,000	500,000
財源	国庫・県支出金					
	市債	38,900,000	285,900,000	134,400,000	147,500,000	
	その他特定財源					
	一般財源		140,600	67,379	33,515	

事業名	浸水対策事業				
予算区分	一般会計 土木費 河川費 河川新設改良費				
総合計画の体系	第6章 第6節 河川・海岸環境の整備				
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成17年度	決算書	163頁～164頁

1 事業の概要・取組

概要	家屋や道路などの浸水・冠水被害軽減のため、浸水対策を行うとともに、水路網図作成を実施し、雨水排水施設の整備を計画的に推進する。
令和2年度の主な取組	社会資本整備総合交付金等を活用し、雨水排水施設を整備することで、浸水被害地域の住民の安心・安全な生活環境の確保を図る。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> 長府亀の甲町1号線 L=41m 排水路整備(完成) 武久町85号線 L=29m 排水路整備(完成) 水路網図作成(小月京泊地区)(完成)
今後の展開	大学町・熊野線、後田町9号線、下岡枝地区(菊川)、矢田・西市地区(豊田)、水路網図作成(東勝谷地区)について事業進捗を図る。

3 施設の概要、計画等

【事業計画】		
路線名等	事業内容	事業予定年度
大学町・熊野線	排水路整備 L=200m	平成28年度～令和4年度
長府亀の甲町1号線	排水路整備 L=200m	平成27年度～令和2年度
後田町9号線	排水路整備 L=500m	平成27年度～令和6年度
武久町85号線	排水路整備 L=100m	平成26年度～令和2年度
下岡枝地区	排水路整備 L=126m	平成26年度～令和7年度
矢田・西市地区	排水路整備 L=490m	平成27年度～令和6年度
水路網図作成	小月京泊地区	



長府亀の甲町1号線(完成)

4 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		145,449,664	370,083,529	161,475,483	34,908,900	173,699,146
主要な経費	大学町・熊野線	16,773,594	113,521,619	30,850,218	23,408,900	59,262,501
	長府亀の甲町1号線	33,142,279	96,785,768	52,558,800		44,226,968
	後田町9号線	32,652,590	103,762,683	39,321,100	11,500,000	52,941,583
財源	国庫・県支出金	60,580,523	177,607,548	71,794,687	18,099,895	
	市債	59,500,000	168,600,000	69,500,000	15,000,000	
	その他特定財源					
	一般財源	25,369,141	23,875,981	20,180,796	1,809,005	

事業名	急傾斜地崩壊対策事業				
予算区分	一般会計 土木費 河川費 急傾斜地崩壊対策事業費				
総合計画の体系	第6章 第6節 河川・海岸環境の整備				
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成17年度	決算書	163頁～166頁

1 事業の概要・取組

概要	地元要望に対応した急傾斜地崩壊危険箇所の整備を計画的に推進する。
令和2年度の主な取組	急傾斜地崩壊危険区域として指定された急傾斜地の崩壊対策及びがけ崩れ対策を行い、住民生活の安定と安全性の向上を図る。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模急傾斜地崩壊対策事業 緑町(6)地区 L=15m (完成) ・災害関連地域防災がけ崩れ対策事業 高野(1)地区 L=18.5m (完成) ・県施行急傾斜地崩壊対策事業費の一部を負担し、事業促進を図った。
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模急傾斜地崩壊対策事業 彦島本村町(一)(13)地区、長府安養寺(一)(9)地区について事業進捗を図る。

3 施設の概要、計画等

【事業計画】
小規模急傾斜地崩壊対策事業

箇所名	施工内容	延長	事業内容	事業年度
緑町(6)	吹付法砕工	L=60m	吹付法砕工	平成30年度～令和2年度

災害関連地域防災がけ崩れ対策事業

箇所名	施工内容	延長	事業内容	事業年度
高野(1)	吹付法砕工	L=18.5m	吹付法砕工	令和元年度～令和2年度



緑町(6)地区 (完成)

4 決算情報

(単位:円)

年度	R1	R2				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	162,022,819	144,670,200	121,588,719		23,081,481	
主要な経費	緑町(6)	15,532,773	54,874,300	54,140,768		733,532
	高野(1)	3,080,000	33,990,000	22,112,200		11,877,800
	県施行負担金	44,366,436	41,000,000	39,305,551		1,694,449
財源	国庫・県支出金	76,287,000	59,740,000	43,470,850		
	市債	69,800,000	82,900,000	68,700,000		
	その他特定財源 (受益者分担金)	3,169,105	420,000	277,810		
	一般財源	12,766,714	1,610,200	9,140,059		

事業名	都市計画マスタープラン改訂業務				
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 都市計画総務費				
総合計画の体系	第5章 第1節 市街地の整備				
担当課名	都市計画課	開始年度	令和元年度	決算書	165頁~166頁

1 事業の概要・取組

概要	<p>現行の都市計画マスタープランは策定から10年が経過していることから、本市を取り巻く社会経済環境や関連する上位計画に即した計画に改訂することで、事業等を計画的に実施し、より良い都市づくりを促進する。</p>
令和2年度の主な取組	<p>都市計画マスタープラン策定委員会を開催し都市計画審議会や議会への報告及び意見聴取を行った。 また、地元説明会、パブリックコメントの実施を行ったうえで、「全体構想」(案)を策定した。</p>

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	地域に応じた都市機能が充実し、まちなぎわいや魅力があると感じている市民の割合				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R3年度)
目標値(%)		15.0	15.0	15.0	15.0
実績値(%)		9.70	8.10		
達成率(%)		64.7%	54.0%		
評価(A~D)		D	D		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	<p>本市の「まちづくりの理念」や「都市計画の目標」、「全体構想」(案)を策定した。</p>
今後の展開	<p>令和3年度は、あるべき市街地像等の地域像、実施される施策などの「地域別構想」を策定し、都市計画マスタープランの策定を行う。</p>

4 参考情報

平成23年度	都市計画区域の再編(下関北都市計画区域を指定)
令和元年度	立地適正化計画 策定・公表、総合計画後期基本計画策定
令和2年度	山口県広域、区域マスタープラン策定、第6回区域区分定期見直し

5 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		5,531,900	7,348,000	7,348,000		
主要な経費	委託料	5,531,900	7,348,000	7,348,000		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	5,531,900	7,348,000	7,348,000		

事業名	まちなか再生宅地開発補助金			
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 都市計画総務費			
総合計画の体系	第5章 第1節 市街地の整備			
担当課名	都市計画課	開始年度	令和2年度	決算書 165頁~166頁

1 事業の概要・取組

概要	全市的にコンパクトなまちづくりを進めるため、立地適正化計画における居住誘導区域内において狭隘道路などの課題を解消し、良好な住環境を確保する開発工事費用の一部を補助することで民間開発を促進し、まちなか再生を図る。
令和2年度の主な取組	宅建協会での説明会、ホームページ、開発審査窓口等で当該制度を周知した。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	居住誘導区域内で当該補助金を活用した開発の件数				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R6年度)
目標値(件)			3	1	3
実績値(件)			0		
達成率(%)			0.0%		
評価(A~D)			D		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
 C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	補助金採択件数は、0件であった。
今後の展開	令和2年度の開発動向について調査をおこなったうえで、当該補助金を活用しやすいよう採択条件の見直しを行った。引き続き居住誘導区域内での民間開発を促進できるよう更なる周知を行う。

4 参考情報

令和2年度「市街化区域内開発件数」	15件
-------------------	-----

5 決算情報

(単位:円)

年度	R1	R2			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		6,000,000			6,000,000
主要な経費	補助金	6,000,000			6,000,000
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源 (基金繰入金)	5,000,000			
	一般財源	1,000,000			

事業名	駐車場整備計画策定業務				
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 都市計画総務費				
総合計画の体系	第5章 第1節 市街地の整備				
担当課名	交通対策課	開始年度	令和2年度	決算書	165頁～166頁

1 事業の概要・取組

概要	現計画が令和3年度に目標年次を迎えることから、社会経済情勢や土地利用の変化等に応じた計画に見直すとともに、連休等における観光型駐車対策及び、あるかぽーと開発事業による駐車需要の変化にも対応した計画を策定するもの。
令和2年度の主な取組	業務委託により、駐車場整備地区を中心とした調査対象地区について、駐車施設実態調査・利用状況等の現況調査並びに将来需給バランスの予測、課題の抽出、対策方法の考察等を実施した。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	地域に応じた都市機能が充実し、まちのにぎわいや魅力があると感じている市民の割合				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R2年度)
目標値(%)			15.00		15.00
実績値(%)			8.10		
達成率(%)			54.0%		
評価(A～D)			D		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
 C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	業務委託により上記取組を行い、整理・分析することにより駐車場整備計画(素案)を作成した。
今後の展開	令和3年度に駐車場整備計画(素案)について審議会に諮り、正式に計画の更新を行う予定。

4 参考情報

駐車場整備地区：下関駅周辺～細江町周辺～唐戸地区周辺

5 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			5,000,000	4,950,000		50,000
主要な経費	委託料		5,000,000	4,950,000		50,000
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源		5,000,000	4,950,000		

事業名	密集市街地環境整備事業				
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 市街地整備費				
総合計画の体系	第5章 第1節 市街地の整備				
担当課名	市街地開発課	開始年度	平成30年度	決算書	165頁～166頁

1 事業の概要・取組

概要	平成30年度に定めた重点整備地区内において、土地と老朽建築物の寄附を受け、寄附を受けた老朽建築物を除却後、防災空地として整備を行い、防災性の向上と良好な住環境の形成を目指す。
令和2年度の主な取組	寄附対象物件の調査等を行い、老朽建築物の除却及び防災空地の整備を行った。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	老朽建築物除却件数				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R6年度)
目標値(件)			5	1	1
実績値(件)			1		
達成率(%)			20.0%		
評価(A～D)			D		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
 C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> 寄附対象物件の調査等 4件 老朽建築物の除却及び防災空地の整備 1件
今後の展開	寄附対象物件の調査や寄附を受けた老朽建築物の除却を行うとともに、今後については国庫補助の状況等を踏まえ、事業手法を検討していく。

4 参考情報

寄附を受けた物件が工事車両等の進入が不可能な場所であり、人力施工等の要因により工事費が当初の見込みより増額となったため、目標指標の除却件数を下回る実績となった。

5 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		178,200	18,296,100	14,422,100	2,874,300	999,700
主要な経費	委託料	178,200	12,676,400	9,802,100	2,874,300	
	工事請負費		5,619,700	4,620,000		999,700
財源	国庫・県支出金		6,000,000	4,717,850	1,437,150	
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	178,200	12,296,100	9,704,250	1,437,150	

事業名	街路整備事業				
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 街路事業費				
総合計画の体系	第5章 第3節 道路の整備				
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成17年度	決算書	165頁～166頁

1 事業の概要・取組

概要	幹線道路のネットワークを形成し、公共施設へのアクセス性の向上、都市内交通の円滑化を図り、市街地の渋滞解消に寄与するもの。
令和2年度の主な取組	社会資本整備総合交付金等を活用し、都市計画道路武久幡生本町線の整備を行うことにより、市道武久幡生線（幡生駅ガード下）の交通渋滞の解消や、幡生操車場跡地の土地利用におけるアクセス道路の確保を図る。


2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	武久幡生本町線において、JR山陽本線を跨ぐ橋梁架設に伴う地盤改良工を完了した。
今後の展開	令和5年度の事業完了を目指す。

3 施設の概要、計画等

【事業計画】

路線名	事業内容	事業予定年度
武久幡生本町線	道路整備 L=200m	平成25年度 ～ 令和5年度



4 決算情報

(単位:円)

年度	R1	R2				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	366,062,352	592,886,126	213,090,944	318,789,000	61,006,182	
主要な経費	武久幡生本町線	364,867,082	592,886,126	213,090,944	318,789,000	61,006,182
財源	国庫・県支出金	173,855,730	282,167,553	93,667,553	156,594,500	
	市債	172,200,000	279,700,000	107,300,000	145,900,000	
	その他特定財源					
	一般財源	20,006,622	31,018,573	12,123,391	16,294,500	

事業名	乃木浜総合公園整備事業				
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 公園費				
総合計画の体系	第5章 第4節 公園・緑地の整備				
担当課名	公園緑地課	開始年度	平成21年度	決算書	165頁～168頁

1 事業の概要・取組

概要	本市のスポーツ・レクリエーション需要に対応した、中核的な総合公園を目指すため、現在山陽地区で不足している運動施設の早期充実を図る。また、市民の憩いの広場を提供することにより健康増進や地域コミュニティの形成に資するため、広場及び緑地の整備を行う。
令和2年度の主な取組	令和2年度は、グラウンド・ゴルフ場、主園路等の整備を行った。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	令和2年度は、グラウンド・ゴルフ場、主園路、園路広場の整備を行った。
今後の展開	令和3年5月にグラウンド・ゴルフ場の供用を開始した。令和3年度は、第3多目的グラウンドに着手し、早期完成を目指し野球場、園路広場等の整備を実施していく。


3 施設の概要、計画等

【施設整備】

①運動施設：多目的グラウンド（大1、小2）
人工芝グラウンド（1面）
野球場（1面）、庭球場（5面）
グラウンド・ゴルフ場（令和3年5月供用開始）
（4コース 32ホール（天然芝） 駐車場47台）
（（公社）日本グラウンド・ゴルフ協会認定予定）

②多目的施設：展望の丘、園路等

③便益施設：トイレ（3カ所）



4 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		241,322,258	411,117,300	250,589,685	156,000,000	4,527,615
主要な経費	工事請負費	223,932,220	396,007,300	241,216,200	151,000,000	3,791,100
	事務費	13,691,038	14,500,000	8,936,785	5,000,000	563,215
	委託料	3,699,000	610,000	436,700		173,300
財源	国庫・県支出金	111,966,110	198,691,970	120,570,270	74,688,650	
	市債	113,000,000	197,000,000	116,400,000	77,200,000	
	その他特定財源					
	一般財源	16,356,148	15,425,330	13,619,415	4,111,350	

事業名	新総合体育館整備事業				
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 公園費				
総合計画の体系	第1章 第1節 文化・スポーツの振興				
担当課名	公園緑地課	開始年度	平成30年度	決算書	165頁～168頁


1 事業の概要・取組

概要	本市スポーツ振興の中心的拠点となり、イベント等も開催できる総合体育館の整備を行い、スポーツ活動の推進及び環境の整備・充実を図る。PFI事業におけるBT0方式を活用し、令和6年度供用開始を目指す。
令和2年度の主な取組	令和2年度は、PFI手法を導入するためアドバイザーの支援を受けつつ、PFI事業審査委員会の審査を踏まえ、特定事業の選定、事業者の募集・選定を行い、令和3年度契約に向けた事業進捗を図った。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	アドバイザーの支援を受けて、実施方針の策定や特定事業の選定等を進め、10月1日にPFI事業に係る入札公告を行い、令和3年3月にPFI事業審査委員会の審査結果(答申)を踏まえて落札者を決定した。
今後の展開	令和3年6月の市議会定例会での議決を経て事業契約を締結し、令和3年度の設計業務を経て、令和4年度に新総合体育館の建設工事に着手し、令和6年度の供用開始を目指す。

3 施設の概要、計画等

○ 施設の概要	<p>規模：建築面積 約7,750㎡ 延床面積 約12,000㎡ 構造：鉄筋コンクリート造+鉄骨造 2階建 主要施設：メインアリーナ 約3,200㎡ 多目的ホール 約1,200㎡ 多目的室 4室</p>	
○ 事業計画	<p>令和3年度：設計業務 令和4年度：新総合体育館建設工事着手 令和6年度：新総合体育館供用開始 下関市体育館等の解体・撤去 庭球場、駐車場の整備 令和7年度：庭球場、駐車場の供用開始</p>	

4 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		15,629,758	37,300,000	8,563,861	27,007,000	1,729,139
主要な経費	委託料	14,535,400	35,200,000	7,684,600	26,400,000	1,115,400
	報酬		200,000	160,000	40,000	
	事務費	1,094,358	1,900,000	719,261	567,000	613,739
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 (基金繰入金)		24,000,000			
	一般財源	15,629,758	13,300,000	8,563,861	27,007,000	

事業名	公共交通機関整備推進業務 (バス交通)				
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 交通対策費				
総合計画の体系	第5章 第2節 公共交通の整備				
担当課名	交通対策課	開始年度	平成17年度	決算書	167頁~168頁

1 事業の概要・取組

概要	公共交通機関であるバス交通について、路線バス及び廃止路線代替バスの経常欠損額に対する補助やノンステップバス導入支援等を行うとともに、菊川、豊田、豊北総合支所管内で市生活バスの運行を行うなど、生活に必要な移動手段の確保を図る。
令和2年度の主な取組	路線バス及び廃止路線代替バスの経常欠損額に対する補助やノンステップバス導入支援のほか、バス事業者が導入する交通系ICカードシステムに係る費用の一部を補助した。また、市生活バスについて、1乗車100円とする1コイン化を継続するとともに、菊川町の縦ノ木・保木線において、貨客混載事業の試行運行を行った。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	人口に対するバスの利用率				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R10年度)
目標値(%)	13.6	13.6	13.9	14.1	15.1
実績値(%)	13.3	13.4	10.5		
達成率(%)	97.8%	98.5%	75.5%		
評価(A~D)	B	B	C		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	コロナ禍における経済活動や移動の自粛により利用者数が減少し、バスの利用率も大きく低下したが、非接触で感染症対策にもなる交通系ICカードの導入により利便性が向上した。
今後の展開	引き続き、バス路線の再編やバス利用環境の改善等を行うことで、バスの利便性を向上するとともに、生活に必要な移動手段の確保を図る。

4 参考情報

新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少しているため、各事業者が乗務員等の飛沫感染予防対策やバス車内の消毒及び換気を行うなど、新型コロナウイルス感染症防止対策を実施するとともに情報発信を行い、利用促進に努めている。

5 決算情報

(単位:円)

年度	R1	R2			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費	373,907,637	466,024,657	464,453,853		1,570,804
主要な経費	廃止路線代替バス運行事業費補助金	108,638,000	114,689,000	114,689,000	
	地方バス路線維持費補助金	214,571,000	230,000,000	230,000,000	
	バス交通系ICカードシステム導入事業費補助金		68,242,000	68,242,000	
財源	国庫・県支出金	32,108,000	32,516,000	32,541,000	
	市債				
	その他特定財源 (使用料、基金繰入金)	47,507,200	91,594,000	91,284,950	
	一般財源	294,292,437	341,914,657	340,627,903	

事業名	民間住宅対策業務				
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 住環境整備費				
総合計画の体系	第4章 第4節 住環境の整備				
担当課名	住宅政策課	開始年度	平成25年度	決算書	167頁～168頁

1 事業の概要・取組

概要	住生活基本法等に基づき、良好な住環境の整備を図るため、良質な住宅ストックの形成の促進など、各種民間住宅施策を実施するもの。
令和2年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・民間団体による住宅や空き家の問題解決及び利活用の促進への支援 (住宅活用支援) ・中心市街地における住宅の新築への支援 (中心市街地新築住宅) ・人口定住につながる住宅の確保への支援 (移住者向け住宅購入)

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	住宅購入支援件数 (移住者・中心市街地)				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R6年度)
目標値(件)		5	20	20	20
実績値(件)		0	16		
達成率(%)		0.0%	80.0%		
評価(A～D)		D	C		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
 C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	移住者向け住宅購入支援事業の実施により、本市への移住・定住につながる一定の成果が得られた。住宅活用支援事業の実施により、活動参加者の空き家問題に対する意識啓発につながった。
今後の展開	中心市街地新築住宅購入費助成事業は助成事業の需要が無かったことから、見直しにより廃止した。移住者への住宅購入を支援することで、まちの賑わい創出と良質な住宅ストックの形成を促進する。

4 参考情報

--

5 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		1,062,657	23,577,000	10,909,456		12,667,544
主要な経費	住宅活用支援事業		400,000	180,000		220,000
	中心市街地新築住宅購入費助成事業		3,000,000			3,000,000
	移住者向け住宅購入支援事業		20,000,000	10,600,000		9,400,000
財源	国庫・県支出金	717,000	9,000,000	4,770,000		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	345,657	14,577,000	6,139,456		

事業名	空き家対策業務				
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 住環境整備費				
総合計画の体系	第4章 第4節 住環境の整備				
担当課名	住宅政策課	開始年度	平成24年度	決算書	167頁～168頁

1 事業の概要・取組

概要	空家等の適切な管理の促進及び活用の促進のため、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、各種施策を講じるもの。
令和2年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下関市空家等対策計画の策定 ・ 空き家の改修費用及び管理費用の補助 ・ 空き家バンク事業の実施 ・ 危険な空き家及び跡地活用を伴う空き家に対する除却費用の補助

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	危険家屋除却件数 (当該年度)				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R6年度)
目標値(件)	35	35	30	30	30
実績値(件)	28	21	33		
達成率(%)	80.0%	60.0%	110.0%		
評価(A~D)	C	D	A		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
 C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	各補助事業については、多数の相談・応募に対して事業実施することができ、市内の空き家の管理、改修、解体が促進された。
今後の展開	下関市空家等対策計画において設けた重点対象地区を中心に、引き続き補助金を加算するとともに、新たに空き家の情報を収集し、得られた情報を活用して、空き家の状況に応じた対策を講じる。

4 参考情報

下関市の空き家の現状 (住宅・土地統計調査 総務省) 平成25年 空き家数22,830戸 平成30年 空き家数26,230戸

5 決算情報

(単位:円)

年度	R1	R2			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費	19,287,546	21,600,000	18,750,391		2,849,609
主要な経費	空き家居住促進改修補助金	2,713,000	2,400,000	2,400,000	
	空き家管理・流通促進支援事業補助金	381,000	480,000	147,000	333,000
	危険家屋除却費補助金	8,101,000	14,000,000	12,973,000	
財源	国庫・県支出金	8,677,000	8,080,000	7,354,000	
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源	10,610,546	13,520,000	11,396,391	

事業名	都市景観形成推進業務				
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 住環境整備費				
総合計画の体系	第4章 第2節 良好な景観の形成				
担当課名	都市計画課	開始年度	平成17年度	決算書	167頁~168頁

1 事業の概要・取組

概要	下関市景観条例等の円滑な運用及び下関市景観計画に基づく景観誘導により、市民・事業者・行政の役割分担のもとで、官民一体となった景観形成の推進を図る。
令和2年度の主な取組	12月に下関花いっぱい計画を実施した。 11月から1月まで夜の景観照明事業（下関駅前イルミネーション）を実施した。 7月から8月にかけて下関市景観賞の募集を行い12月に表彰式を行った。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	下関らしい豊かで潤いのある景観づくりが推進されていると感じている市民の割合				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R6年度)
目標値(%)	31.0	32.0	32.0	32.0	32.0
実績値(%)	21.7	24.5	23.1		
達成率(%)	70.0%	76.6%	72.2%		
評価(A~D)	C	C	C		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	花いっぱい計画で12月に花苗配布及び一斉植付けを実施し、コロナ禍による市民のストレス緩和や景観意識の醸成に貢献した。夜の景観照明事業でイルミネーションの点灯を実施し、下関駅前の賑わい創出に貢献した。
今後の展開	下関らしい豊かで潤いのある景観づくりに向け、引き続き市民・事業者等と連携を図りながら、景観形成についての市民意識の向上を図る。

4 参考情報

○花いっぱい計画	・6月の開催は、コロナ感染症予防のため中止 ・12月6日開催 (参加者) 約70団体、約400人 (参加者管理花壇数) 129箇所
----------	--

5 決算情報

(単位:円)

年度	R1	R2				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	5,528,963	5,491,000	3,705,621		1,785,379	
主要な経費	花いっぱい計画推進費	2,569,330	2,365,000	1,352,142		1,012,858
	夜の景観照明事業補助金	1,603,030	1,250,000	1,000,000		250,000
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源	500,000				
	一般財源	5,028,963	5,491,000	3,705,621		

事業名	公営住宅等ストック総合改善事業				
予算区分	一般会計 土木費 住宅費 住宅建設費				
総合計画の体系	第4章 第4節 住環境の整備				
担当課名	住宅政策課	開始年度	平成17年度	決算書	169頁～170頁

1 事業の概要・取組

概要	下関市公営住宅等長寿命化計画に基づき、躯体の安全確保、耐久性の向上及び居住水準の向上を図るため、既設公営住宅等において外壁改修工事及び屋上防水改修工事等を実施するもの。
令和2年度の主な取組	令和2年度は、市営白雲台住宅R11にエレベーターを設置し、その他にも市営白雲台住宅R21の外壁及び屋上防水改修工事などを行った。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	市営白雲台住宅R21外壁及び屋上防水改修工事など8件の改修工事と1件の設計業務を完了した。
今後の展開	引き続き、下関市公営住宅等長寿命化計画に基づき、躯体の安全確保、耐久性の向上及び居住水準の向上を図るため、既設公営住宅等の改修工事を実施していく。

3 施設の概要、計画等

令和2年度実施の施設・業務概要

実施団地名	建設年度	構造等	実施棟数 (戸数)	外壁	防水	屋根 仕上材	給排水 ガス管	EV
白雲台	昭和58～ 平成7年度	中層耐火5階建 高層耐火6階建	5棟	○	○	○		○
			150戸					
熊野西	平成2年度	中層耐火5階建	3棟			○		
			100戸					
長府前八幡(2)	昭和56年度	中層耐火5階建	1棟					○
			40戸					



(白雲台R21住宅)



(白雲台R11住宅)

4 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		260,784,600	465,419,200	401,855,300		63,563,900
主要な経費	工事請負費	252,403,800	447,500,000	389,547,400		57,952,600
	委託料	8,380,800	17,919,200	12,307,900		5,611,300
財源	国庫・県支出金	142,544,000	189,628,000	153,812,000		
	市債	118,200,000	275,700,000	248,000,000		
	その他特定財源 (使用料)	40,600	91,200	43,300		
	一般財源					

事業名	下関駅周辺地区市営住宅等団地再生業務				
予算区分	一般会計 土木費 住宅費 住宅建設費				
総合計画の体系	第4章 第4節 住環境の整備				
担当課名	住宅政策課	開始年度	平成29年度	決算書	169頁～170頁


1 事業の概要・取組

概要	下関駅周辺地区に位置する既存市営住宅等の更新と集約を図るための団地再生計画を策定し、効果的かつ効率的な建替事業の推進を図る。また、自治会長等との意見交換の場についても継続的に設けることで、信頼関係を醸成し、建替えに対する協力体制の構築に努める。
令和2年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団地再生計画の策定 ・ 自治会長等との意見交換の実施

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年11月から令和3年1月にかけて、自治会長ほか計15名と意見交換を実施 ・ 令和3年3月に団地再生計画を策定
今後の展開	団地再生計画を活用し地元説明を行う。また、市営住宅の入居者等に対し建替えに関する意向確認を実施し、建替事業の推進を図る。

3 施設の概要、計画等

○団地概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団地名 : 市営竹崎住宅(1) 市営竹崎改良住宅(2)～(6) 市営竹崎改良住宅(10) 市営竹崎改良住宅(13)～(15) 市営長門改良住宅 ・ 総管理戸数 : 562戸 ・ 建設年度 : 昭和35年度～昭和51年度 	
○主な事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度 : 権利関係の整理、再生手法の検討、事業イメージの構築 等 ・ 平成30年度 : 自治会長と市営住宅の課題等についての意見交換 ・ 令和元年度 : 自治会長、管理人、店舗の組合長及び民生委員等と意見交換 ・ 令和2年度 : 市営竹崎改良住宅(2)から(4)に係る団地再生計画の策定 自治会長、管理人、店舗の組合長及び民生委員等と意見交換 	

4 決算情報

(単位:円)

年度	R1	R2				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	858,000	10,120,000	6,449,679		3,670,321	
主要な経費	委託料	858,000	10,000,000	6,435,000		3,565,000
	事務費		120,000	14,679		105,321
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 (使用料)	858,000	10,120,000	6,449,679		
	一般財源					

事業名	白雲台団地公営住宅等整備事業				
予算区分	一般会計 土木費 住宅費 住宅建設費				
総合計画の体系	第4章 第4節 住環境の整備				
担当課名	住宅政策課	開始年度	平成28年度	決算書	169頁～170頁

1 事業の概要・取組

概要	白雲台団地における公営住宅R1棟からR3棟までについて、PFI手法による建替事業を行い、団地の再生を図る。
令和2年度の主な取組	令和2年度は現地調査、設計、入居者の仮移転及び既存建物の解体を行った。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年6月末 入居者の仮移転完了 令和2年9月～ 既存建物解体工事（令和3年1月完了） 令和3年3月末 新しい建物の設計完了
今後の展開	令和3年度から新しい建物の建設工事に着手し、令和4年9月末の建物完成、その後12月末までに入居者の本移転を行う。

3 施設の概要、計画等

○団地概要		
・建替対象住棟	: 白雲台R1棟、R2棟、R3棟	
・整備棟数(戸数)	: 1棟(108戸)	
・住戸タイプ	: 1DK(36戸) 2DK(45戸) 3DK(27戸)	
・事業期間	: 令和元年12月18日から 令和4年12月28日まで	
・事業内容	: (令和元年度から令和2年度) 現地調査、設計、仮移転、既存建物の解体 (令和3年度から令和4年度) 建設、本移転	

4 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		14,227,920	180,000,000	179,224,326		775,674
主要な経費	委託料	14,227,920	172,340,000	172,339,200		800
	移転補償金		7,218,000	6,495,660		722,340
	事務費		442,000	389,466		52,534
財源	国庫・県支出金	4,064,000	88,580,000	88,298,000		
	市債		86,400,000	86,400,000		
	その他特定財源 (使用料)	10,163,920	5,020,000	4,526,326		
	一般財源					

消 防 費

	事業名	所管課	頁
1	消防団充実強化事業	警防課	130
2	救急業務高度化整備事業	警防課	131
3	消防車両等整備事業	警防課	132
4	自主防災リーダー育成事業	防災危機管理課	133
5	下関市防災メール等普及啓発事業	防災危機管理課	134
6	国土強靱化地域計画策定業務	防災危機管理課	135

事業名	消防団充実強化事業				
予算区分	一般会計 消防費 消防費 非常備消防費・消防施設費				
総合計画の体系	第6章 第1節 生活安全の推進				
担当課名	警防課	開始年度	平成17年度	決算書	169頁～170頁


1 事業の概要・取組

概要	耐用年数を経過した消防団車両の計画的な更新整備、老朽・狭隘な消防機庫の計画的な改修・改築(統廃合を含む)を行う。 また、安全装備品等を配備することにより、消防団員の安全を確保し、災害活動の充実強化を図る。
令和2年度の主な取組	老朽化した消防機庫の改築にあたり、2つの消防機庫の統廃合を行った。 また、最新の機能を有する消防団車両や、安全装備品等を配備した。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	消防団車両等11台の更新、消防機庫2棟の改築を行った。 また、トランシーバー310台、耐切創用手袋1,252双等を配備し、消防団員の安全の確保及び災害活動の充実強化が図られた。
今後の展開	今後も計画的に消防団車両等の更新、消防機庫の改修・改築を行う。 また、安全装備品等の充実強化を図り、災害時における消防団のより安全かつ効果的な体制を構築する。

3 施設の概要、計画等

<p>令和2年度 主な事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防機庫改築(建替)2棟 吉見分団第11部(蓋井島) 黒井分団第2・3部(原) ・消防ポンプ自動車 2台 内日分団第1部(河原)、彦島分団第1部(本村) ・小型動力ポンプ積載車(軽)5台 王司分団第2部(神田)、勝山分団第1部(秋根) 勝山分団第2部(西・東町)、川中分団第6部(延行) 川中分団第7部(有富) ・小型動力ポンプ 4台 勝山分団第2部(西・東町)、川中分団第3部(稗田) 吉見分団第8部(里)、豊東分団第4部(上大野) ・消防団装備品 情報伝達機器～無線機、トランシーバー 安全装備品～耐切創用手袋、防火衣等 	<p>【吉見分団第11部(蓋井島)消防機庫】</p> 
---	---

4 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		131,704,421	198,971,000	154,930,139		44,040,861
主要な経費	消防機庫の改築・改修	68,301,140	126,000,000	84,609,257		41,390,743
	消防車両等購入費	56,116,500	58,200,000	56,771,000		1,429,000
	教育及び装備品	7,286,781	14,771,000	13,549,882		1,221,118
財源	国庫・県支出金		2,000,000	1,673,000		
	市債	124,900,000	158,100,000	127,900,000		
	その他特定財源 (基金繰入金、諸収入)		27,900,000	16,990,000		
	一般財源	6,804,421	10,971,000	8,367,139		

事業名	救急業務高度化整備事業				
予算区分	一般会計 消防費 消防費 常備消防費・消防施設費				
総合計画の体系	第6章 第1節 生活安全の推進				
担当課名	警防課	開始年度	平成17年度	決算書	169頁～170頁

1 事業の概要・取組

概要	多種多様化する救急業務に対応するため、高度救命処置用資機材を積載した高規格救急自動車を計画的に更新するとともに、これらを運用する救急救命士の養成及び救急救命士を指導する立場となる指導救命士の養成を行う。
令和2年度の主な取組	高度救命処置用資機材を積載した高規格救急自動車2台を更新し、これらを運用する救急救命士を養成した。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	高度救命処置用資機材を積載した高規格救急自動車2台を更新するとともに、これらを運用する救急救命士の養成を行い、傷病者に対する救命処置の質の向上が図られた。
今後の展開	今後も高度救命処置用資機材を積載した高規格救急自動車を計画的に更新整備するとともに、救急救命士の養成を行う。

3 施設の概要、計画等

令和2年度事業

- ・高規格救急自動車の更新 2台
 東消防署 (H26. 11更新)
 豊浦西消防署豊北出張所 (H26. 2更新)
 (下関市消防局救急隊10署所10隊 車両13台)
 ※13台のうち非常用車両 3台
- ・救急救命士の養成
 救急救命九州研修所 2人
 (配置計画 各救急隊に6人の計60人)

【救急活動(訓練)】



4 決算情報

(単位:円)

年度	R1	R2				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	40,388,620	76,274,000	75,805,790		468,210	
主要な経費	備品購入費	35,893,000	72,000,000	71,940,000		60,000
	旅費(研修所入所)	693,950	659,000	567,015		91,985
	負担金等(入所・受験)	3,801,670	3,615,000	3,298,775		316,225
財源	国庫・県支出金					
	市債	33,200,000	72,000,000	66,400,000		
	その他特定財源					
	一般財源	7,188,620	4,274,000	9,405,790		

事業名	消防車両等整備事業				
予算区分	一般会計 消防費 消防費 常備消防費・消防施設費				
総合計画の体系	第6章 第1節 生活安全の推進				
担当課名	警防課	開始年度	平成17年度	決算書	169頁～170頁

1 事業の概要・取組

概要	消防力の整備指針（消防庁告示）を目標として、常備消防車両等の整備に取り組みながら耐用年数を経過した車両等を計画的に更新整備するとともに、消防車両の安全基準に基づく、はしご付消防自動車のオーバーホール等を行うなど、消防車両等を適正に維持管理する。
令和2年度の主な取組	救助工作車1台（北消防署）、水槽付消防ポンプ自動車1台（中央消防署）を更新するとともに、はしご付消防自動車1台（西消防署）のオーバーホールを行った。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	救助工作車1台（北消防署）、水槽付消防ポンプ自動車1台（中央消防署）を更新するとともに、はしご付消防自動車1台（西消防署）のオーバーホールを行った。
今後の展開	今後も消防力の整備指針を目標として、常備消防車両等の整備に取り組みながら、耐用年数を経過した車両等を計画的に更新整備するとともに、消防車両等を適正に維持管理する。

3 施設の概要、計画等

○令和2年度更新車両 2台	【救助工作車】
救助工作車 北消防署 (H18.3更新)	
水槽付消防ポンプ自動車 中央消防署 (H18.3更新)	
○はしご付消防自動車のオーバーホール 1台 西消防署 (H20.2車両更新：H27オーバーホール（1回目）実施)	

4 決算情報

(単位:円)

年度	R1	R2				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	43,890,000	209,750,000	208,428,000		1,322,000	
主要な経費	車両購入費	43,890,000	209,750,000	208,428,000		1,322,000
財源	国庫・県支出金	10,000,000				
	市債	30,200,000	174,000,000	165,900,000		
	その他特定財源					
	一般財源	3,690,000	35,750,000	42,528,000		

事業名	自主防災リーダー育成事業				
予算区分	一般会計 消防費 消防費 災害対策費				
総合計画の体系	第6章 第1節 生活安全の推進				
担当課名	防災危機管理課	開始年度	平成24年度	決算書	169頁～172頁

1 事業の概要・取組

概要	本市の減災を図るため、地域の防災力の強化について学ぶ自主防災リーダー育成研修会を開催し、規約を定めた自主防災組織数の増加を図る。
令和2年度の主な取組	自主防災組織や自主防災リーダーによる「共助」の活動を活性化するため、自主防災リーダー育成研修会を開催した。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	規約を定めている自主防災組織の組織数				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R2年度)
目標値(組織数)	56	66	76		76
実績値(組織数)	52	58	63		
達成率(%)	92.9%	87.9%	82.9%		
評価(A~D)	B	C	C		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
 C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	研修会には、これまで本市が養成した防災士をはじめ、地域の自主防災組織等でリーダー的役割を担っている35名が参加した。また、規約を定めた自主防災組織が、令和2年度新たに5組織結成された。
今後の展開	地域防災力の向上、自主防災組織等の活性化を図るため、引き続き、自主防災リーダーの育成に取り組む。

4 参考情報

○自主防災リーダー育成研修会 日時：令和2年11月28日(土)午前9時30分～午後4時00分 場所：下関市役所本庁舎西棟5階大会議室、参加者：35名
--

5 決算情報

(単位:円)

年度	R1	R2			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費	186,047	300,000	142,102		157,898
主要な経費	研修会の出席講師にかかる謝礼及び旅費	77,416	101,000	72,880	28,120
	研修会実施にかかる事務用品等	108,631	199,000	69,222	129,778
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源	186,047	300,000	142,102	

事業名	下関市防災メール等普及啓発事業				
予算区分	一般会計 消防費 消防費 災害対策費				
総合計画の体系	第6章 第1節 生活安全の推進				
担当課名	防災危機管理課	開始年度	令和元年度	決算書	169頁~172頁

1 事業の概要・取組

概要	「下関市防災メール（登録制）」について、出前講座や防災訓練等の機会を活用して登録者数の増加を図る。
令和2年度の主な取組	市HP、市報、テレビ、ラジオや出前講座などの機会を活用し、「下関市防災メール（登録制）」の普及啓発活動を行った。 また、令和2年10月よりしもまちアプリの配信が開始され、防災メールと併せてしもまちアプリの登録者数増加に向けたチラシの作成を行い、普及啓発を図った。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	防災メール登録者数				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R3年度)
目標値(人)		13,000	16,000	20,000	20,000
実績値(人)		13,422	13,556		
達成率(%)		103.2%	84.7%		
評価(A~D)		B	C		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	防災メールの登録者数は増加を続け、令和2年10月末には登録者数が14,606人まで増加したが、しもまちアプリの導入に伴い、令和3年3月末には登録者数が13,556人まで減少した。
今後の展開	防災メールで配信した内容は、しもまちアプリ登録者にも情報が提供されるため、今後も防災メールを通じて広く市民へ防災情報等を提供し、防災意識の高揚を図りたい。

4 参考情報

○防災メール登録者数 令和2年3月末~13,422人、令和2年10月末~14,606人、令和3年3月末~13,556人
--

5 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		146,592	340,400	321,750		18,650
主要な経費	消耗品費	30,672				
	通信運搬費	92,160	290,400	290,400		
	印刷製本費	23,760	50,000	31,350		18,650
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	146,592	340,400	321,750		

事業名	国土強靱化地域計画策定業務				
予算区分	一般会計 消防費 消防費 災害対策費				
総合計画の体系	第6章 第1節 生活安全の推進				
担当課名	防災危機管理課	開始年度	令和2年度	決算書	169頁~172頁

1 事業の概要・取組

概要	国土強靱化に係る国の基本計画等に基づき、地域特性や災害リスクを踏まえた施策を総合的、計画的に進めるための計画策定を行うもの。
令和2年度の主な取組	庁内連絡会議やパブリックコメントを実施するなどし、広く庁内や市民の意見を聴取したうえで、下関市国土強靱化地域計画を策定した。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	国土強靱化地域計画の策定が補助金・交付金の交付要件となる事業の計画への掲載率				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R6年度)
目標値(%)			100	100	100
実績値(%)			100		
達成率(%)			100.0%		
評価(A~D)			B		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
 C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	下関市国土強靱化地域計画の中で、地域の強靱化に向けて優先的に実施すべき事業を抽出・整理し、併せて、今後5年間のアクションプランを取りまとめた。
今後の展開	計画期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間としているが、計画期間中であっても、施策の進捗や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行うなどし、本市の国土強靱化に努める。

4 参考情報

◎市町村 (1, 741 団体) における国土強靱化地域計画策定状況 (令和3年4月1日現在) ・策定済 911 団体 ・策定中 588 団体 ・策定予定 209 団体 ・検討中 33 団体

5 決算情報

(単位:円)

年度	R1	R2			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		5,000,000	4,974,689		25,311
主要な経費	時間外勤務手当	2,500,000	2,499,689		311
	委託料	2,500,000	2,475,000		25,000
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源		5,000,000	4,974,689	

教 育 費

	事業名	所管課	頁
1	特別支援教育支援員配置事業	学校教育課	138
2	プログラミング教育推進事業	教育研修課	139
3	適正規模・適正配置事業	教育政策課	140
4	小・中学校洋式トイレ整備事業	学校支援課	141
5	小・中学校体育館照明LED化事業	学校支援課	142
6	小・中学校教育環境整備事業(ミスト扇風機)	学校支援課	143
7	菊川中学校体育館建替事業	学校支援課	144
8	小・中学校メンテナンス推進事業(長寿命化)	学校支援課	145
9	公立大学法人管理運営業務	総務課	146
10	考古博物館体験学習推進事業	文化財保護課	147
11	美術作品修復事業	美術館	148
12	フッ化物洗口事業	学校保健給食課	149
13	スロージョギング推進事業	スポーツ振興課	150
14	スポーツ合宿等誘致推進事業	スポーツ振興課	151
15	夢ヶ丘公園テニスコート照明灯改修事業	スポーツ振興課	152

事業名	特別支援教育支援員配置事業				
予算区分	一般会計 教育費 教育総務費 事務局費				
総合計画の体系	第3章 第2節 一人ひとりの生き抜く力の育成				
担当課名	学校教育課	開始年度	平成19年度	決算書	171頁~172頁

1 事業の概要・取組

概要	児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導・支援を充実させ、きめ細かな教育を推進するため、障害のある児童生徒の就学支援体制の確立とともに、特別支援教育支援員の配置体制の充実を図る。
令和2年度の主な取組	障害のある児童生徒の発達の段階に応じた指導及び支援を行うため、小・中学校に特別支援教育支援員を30名増員配置した。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	特別支援教育支援員1人あたりの特別支援学級在籍児童生徒数				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R6年度)
目標値(人)	5.0	5.6	4.7	4.7	4.0
実績値(人)	5.0	5.6	4.7		
達成率(%)	100.0%	100.0%	100.0%		
評価(A~D)	B	B	B		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
 C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	特別支援教育支援員を30名増員したことで、小・中学校において、重度の障害がある児童生徒の安全確保や多様な障害のある児童生徒の個々のニーズに応じたきめ細やかな支援が行われた。
今後の展開	現在の配置体制を維持しながら、特別支援教育支援員の資質向上を図り、すべての児童生徒にとって安全で落ち着いた学習環境を整えていく。

4 参考情報

令和2年度	特別支援学級在籍児童生徒数(A)	支援員数(B)	指標(A/B)
	小学校 480人 中学校 199人 合計 679人	143人	4.7

5 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		105,510,630	140,043,000	132,404,405		7,638,595
主要な経費	報酬	105,510,630	140,043,000	132,404,405		7,638,595
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 (基金繰入金)		30,000,000	29,500,000		
	一般財源	105,510,630	110,043,000	102,904,405		

事業名	プログラミング教育推進事業				
予算区分	一般会計 教育費 教育総務費 事務局費				
総合計画の体系	第3章 第2節 一人ひとりの生き抜く力の育成				
担当課名	教育研修課	開始年度	令和2年度	決算書	171頁~172頁

1 事業の概要・取組

概要	小学校において必修となるプログラミング教育の円滑な実施及び先進的な授業事例の創出を図る。プログラミング教育の充実により、情報技術への理解を図るとともに、論理的思考を育み未来社会の中で活躍できる人材、希望の街の実現に向けて地域社会に貢献できる人材を育成する。
令和2年度の主な取組	1 研究協力校によるプログラミング教育公開授業及び研究協議の開催 2 プログラミングロボットの活用 ・プログラミングロボットを活用した授業等の実施 ・下関工科高等学校と連携した授業等の実施 3 教員の指導力向上に係る研修の実施

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	プログラミングロボットを活用した取組を実施した学校の割合(全66校)				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R4年度)
目標値(%)		38	50	60	80
実績値(%)		33	40		
達成率(%)		86.8%	80.0%		
評価(A~D)		C	C		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
 C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	プログラミングロボットの貸出や高校と連携した取組を実施したが、令和2年度は、新型コロナウイルス流行の影響もあり、想定より取組実施校が伸びなかった。
今後の展開	令和2年度は主にプログラミング教育が必修とされる小学校を対象として貸出等を実施した。令和3年度以降は中学校も技術科においてプログラミング教育が導入されるため、中学校も対象として展開していきたい。

4 参考情報

- 1 研究協力校によるプログラミング教育公開授業及び研究協議の開催(参加者46名)
- 2 プログラミングロボットの貸出(小学校15校)工科高校と連携した授業等(実施11校)
- 3 教員の指導力向上に係る研修の実施(ICT活用推進研修会の参加者59名)

5 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2		
			予算現額	決算額	翌年度繰越額
事業費			1,005,000	840,070	164,930
主要な経費	消耗品費		675,000	616,000	59,000
	備品購入費		330,000	224,070	105,930
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源 (基金繰入金)		1,000,000	800,000	
	一般財源		5,000	40,070	

事業名	適正規模・適正配置事業				
予算区分	一般会計 教育費 教育総務費 事務局費				
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上				
担当課名	教育政策課	開始年度	平成21年度	決算書	171頁~172頁

1 事業の概要・取組

概要	少子化等により学校が小規模化する中、下関市立学校適正規模・適正配置基本計画に基づき、学校統合等を進め、より良い教育環境を実現する。
令和2年度の主な取組	地元の合意が得られた豊田地区2校（豊田中小学校・西市小学校）の統合のため、物品移転、廃棄物処理、閉校記念式典開催等に係る事業を実施した。また、名陵中学校区3校による名陵学園開校のための合意形成等を行った。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	学校統合に関する意見交換会				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R6年度)
目標値(回)	5	5	5	5	5
実績値(回)	3	5	4		
達成率(%)	60.0%	100.0%	80.0%		
評価(A~D)	D	B	C		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
 C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	豊田地区では、豊田中小学校と西市小学校を統合した。また、名陵中学校区3校による新しい学校づくりとして、令和4年4月に名陵学園を開校することとなった。
今後の展開	コロナ禍の影響により、計画した意見交換会を開催することができなかった。第3期目の基本計画においては、PTA役員など対象を絞って開催する等、開催方法を工夫し、学校統合に向けた合意形成を図っていく。

4 参考情報

<ul style="list-style-type: none"> 豊田中小学校と西市小学校を統合→令和3年4月 西市小学校 名池小学校・王江小学校・名陵中学校による新しい学校づくり→令和4年4月 名陵学園(名陵小学校と名陵中学校、小中一貫教育校)

5 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		8,456,448	8,695,000	4,330,358		4,364,642
主要な経費	報酬	2,240,400	2,346,000	2,209,800		136,200
	消耗品費	3,970,868	364,000	126,720		237,280
	手数料、委託料	1,542,331	4,800,000	1,317,800		3,482,200
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	8,456,448	8,695,000	4,330,358		

事業名	小・中学校洋式トイレ整備事業				
予算区分	一般会計 教育費 小学校費 学校管理費 / 中学校費 学校管理費				
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上				
担当課名	学校支援課	開始年度	平成28年度	決算書	171頁~174頁

1 事業の概要・取組

概要	校舎の各フロアに1か所以上の洋式トイレ設置は平成30年度に完了したが、家庭環境と違う和式トイレに馴染めない児童生徒の不安解消や、肢体不自由等で支援を要する児童生徒に対応するため、更に洋式化を進める。
令和2年度の主な取組	多目的トイレのみのフロア等の更なる洋式化を実施した。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	小学校18校、中学校6校の更なる洋式化を推進した。
今後の展開	今後は長寿命化改良事業及びトイレの大規模改修を行い洋式化を進めていく。

3 施設の概要、計画等

■事業スケジュール

年度	整備内容	内訳
R2年度	1. 多目的トイレのみのフロアに男女1か所設置 2. 簡易ポータブル設置フロアの便器改修 3. 4クラス以上かつ100人以上のフロアの女子トイレに増設(1~2か所)	小学校19校 中学校10校
R3年度	小学校低学年のフロアに男女1か所増設	小学校44校
R4年度	4クラス以上かつ100人以上のフロアの女子トイレに増設(1か所)	小学校14校 中学校9校



※R2年度の事業効果を検証したのち、新たに計画を作成する。

4 決算情報

(単位:円)

年度	R1	R2			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		35,000,000	34,893,100		106,900
主要な経費	工事請負費	35,000,000	34,893,100		106,900
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源 (基金繰入金)	35,000,000	34,000,000		
	一般財源		893,100		

事業名	小・中学校体育館照明LED化事業				
予算区分	一般会計 教育費 小学校費 学校管理費 / 中学校費 学校管理費				
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上				
担当課名	学校支援課	開始年度	令和2年度	決算書	171頁~174頁

1 事業の概要・取組

概要	水俣条約に基づき、2021年以降水銀を使用した製品の製造、輸出、輸入が原則禁止となった。また、体育館の高天井照明器具の製造も中止となっているため、体育館の高天井照明器具のLED化を推進するもの。
令和2年度の主な取組	体育館照明のLED化に取り組んだ。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開


令和2年度の成果	小学校8校、中学校6校のLED化工事を行った。
今後の展開	令和6年度までに全ての小・中学校の体育館照明LED化を行う。

3 施設の概要、計画等

■対象施設及び事業内容
 小学校33校、中学校19校の体育館高天井照明器具LED化工事

■スケジュール (学校数)

	R2	R3	R4	R5	R6	計
小学校	8	5	7	7	6	33
中学校	6	4	3	2	4	19
計	14	9	10	9	10	52



4 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			49,500,000	46,741,200		2,758,800
主要な経費	工事請負費		49,500,000	46,741,200		2,758,800
財源	国庫・県支出金					
	市債		44,500,000	42,000,000		
	その他特定財源					
	一般財源		5,000,000	4,741,200		

事業名	小・中学校教育環境整備事業 (ミスト扇風機)				
予算区分	一般会計 教育費 小学校費 学校管理費 / 中学校費 学校管理費				
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上				
担当課名	学校支援課	開始年度	令和2年度	決算書	171頁~174頁


1 事業の概要・取組

概要	ミスト扇風機を各学校に配備し、熱中症事故の防止等、児童生徒の安全確保のための対策を講じるもの。
令和2年度の主な取組	ミスト扇風機の配備を希望する各小・中学校へミスト扇風機を配備した。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	ミスト扇風機を配備したことにより、熱中症事故の防止等、児童生徒の安全確保のための対策を行った。
今後の展開	今後も熱中症事故防止対策の中でミスト扇風機を継続的に使用し、児童生徒の安全確保を図っていく。

3 施設の概要、計画等

<p>■ 配備学校数と全体事業費</p> <p>配備学校数 小・中学校53校 (小学校33校、中学校20校) 事業費 5,389千円 (小学校3,485千円、中学校1,904千円)</p> <p>■ 財源</p> <p>ふるさとしものせき応援基金 【活用分野】 子どもの安全確保・健全育成等を目的とした、 公園・児童施設等の環境整備のための費用</p>		
--	--	--

4 決算情報

(単位:円)

年度	R1	R2			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		10,000,000	5,389,399		4,610,601
主要な経費	備品購入費	10,000,000	5,389,399		4,610,601
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源 (基金繰入金)	10,000,000	5,300,000		
	一般財源		89,399		

事業名	菊川中学校体育館建替事業			
予算区分	一般会計 教育費 中学校費 学校建設費			
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上			
担当課名	学校支援課	開始年度	令和2年度	決算書 173頁~174頁

1 事業の概要・取組

概要	耐震二次診断・補強計画策定業務にて、高力ボルトの取替工事が必要となることが判明したため、新築建替と耐震補強工事のトータルコストを勘案すると新築建替のトータルコストが安価となることから、体育館の建替工事を実施するもの。
令和2年度の主な取組	建替工事に伴う地質調査・実施設計・構造計算を行った。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	実施設計等を完了し建替工事に向けた準備を行った。
今後の展開	令和3年度から2カ年で建替工事を行ったのち、令和4年度に解体工事を行う。


3 施設の概要、計画等

■施設の現況
 現在：鉄骨造2階建 1,393.99㎡ S51竣工
 建替後：鉄骨造2階建 約800㎡

■事業スケジュールと全体事業費 (単位：千円)

項目	R2	R3	R4	合計
地質調査・構造計算委託	12,000			12,000
建替工事		31,000	233,000	264,000
解体工事			67,720	67,720
事務費		200	1,300	1,500
合計	12,000	31,200	302,020	345,220

【現況】



4 決算情報

(単位：円)

年度	R1	R2			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		12,000,000	8,235,700		3,764,300
財源	委託料	12,000,000	8,235,700		3,764,300
	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源 (基金繰入金)		12,000,000	8,000,000	
	一般財源		235,700		

事業名	小・中学校メンテナンス推進事業 (長寿命化)				
予算区分	一般会計 教育費 中学校費 学校建設費				
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上				
担当課名	学校支援課	開始年度	令和2年度	決算書	173頁~174頁

1 事業の概要・取組

概要	小・中学校の老朽化した校舎等の施設の長寿命化を実施し、小・中学校の機能や性能を引き上げるための環境整備を行うことにより、安全・安心を確保するもの。
令和2年度の主な取組	構造体の劣化状況等の調査を行い、基本設計を行った。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	基本設計を完了し実施設計に向けた準備を行った。
今後の展開	令和3年度に実施設計を行ったのち、令和4年度に改修工事を行う。

3 施設の概要、計画等

■対象施設
 建築後40年以上経過し、今後30年以上使用するもの。
 構造体の劣化状況等の調査を行い、長寿命化改修ができるもの。

■工事内容
 構造体の劣化改修、水道、電気、ガス管などのライフラインの更新など

■事業スケジュールと全体事業費 (R2～ 勝山中学校 特別普通教室棟ほか)
 (単位：千円)

項目	R2	R3	R4	R5	合計
長寿命化調査・設計	10,000	30,000	30,000	80,000	150,000
長寿命化工事			186,111	275,488	461,599
予防改修工事				199,618	199,618
合計	10,000	30,000	216,111	555,106	811,217

4 決算情報

(単位:円)

年度	R1	R2			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		10,000,000	7,579,000		2,421,000
主要な経費	委託料	10,000,000	7,579,000		2,421,000
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源 (基金繰入金)		10,000,000	7,000,000	
	一般財源			579,000	

事業名	公立大学法人管理運営業務				
予算区分	一般会計 教育費 大学費 大学費				
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上				
担当課名	総務課	開始年度	平成19年度	決算書	175頁～176頁

1 事業の概要・取組

概要	安定的な法人経営を図るため、業務に係る財源の一部として、適正な運営費交付金を交付する。また、下関市公立大学法人評価委員会の運営等を行う。
令和2年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○総合大学化に先駆けたインクルーシブ教育課程の取組の実施に係る費用及び大学等における修学の支援に関する法律により下関市立大学が実施する授業料の減免に係る当該減免額を運営費交付金として交付。 ○下関市公立大学法人評価委員会を4回開催。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	市民実感調査において、下関市立大学は、地元の公立大学として地域に貢献していると思う市民の割合				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R6年度)
目標値(%)	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
実績値(%)	14.95	13.37	12.30		
達成率(%)	74.8%	66.9%	61.5%		
評価(A～D)	C	D	D		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
 C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響により学生の課外活動を制限⇒地域貢献の出来る環境の減少 ・調査結果で「どちらとも言えない」の回答が約50%⇒広報不足
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも可能な代替措置による地域への貢献 ・活発な広報活動の促進 ・総合大学化の推進による魅力的な大学の構築

4 参考情報

--

5 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		186,256,468	258,940,000	239,183,442		19,756,558
主要な経費	公立大学管理業務	215,468	419,000	235,828		183,172
	公立大学運営費交付金	186,041,000	145,880,000	126,724,014		19,155,986
	授業料等減免交付金		112,641,000	112,223,600		417,400
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	186,256,468	258,940,000	239,183,442		

事業名	考古博物館体験学習推進事業				
予算区分	一般会計 教育費 社会教育費 博物館費				
総合計画の体系	第1章 第1節 文化・スポーツの振興 第3章 第5節 生涯を通じた学ぶ機会の提供				
担当課名	文化財保護課	開始年度	令和2年度	決算書	177頁～178頁

1 事業の概要・取組

概要	2020年をユニバーサルミュージアム元年と位置付け、本市における人にやさしい魅力あるまちづくりの一環として、「五感に響く体験型博物館」への機能充実を図り、博物館活動のユニバーサルデザイン化と博福連携を推進する。
令和2年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 市内遺跡出土資料をモデルにパズル形式をはじめとする、視覚障がい者であっても触覚や知覚を駆使して利用可能な体験学習ツール等を開発した。 当博物館内に視覚障がい者用マット・点字案内板を設置した。 ホームページを使いやすく全面リニューアルした。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	考古博物館来館者のうち体験学習ツール利用者の割合				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R6年度)
目標値(%)			50	50	50
実績値(%)			0		
達成率(%)			0.0%		
評価(A～D)			D		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	新型コロナウイルス感染予防のため、手で触れることを主体とする体験学習ツールの稼働を見合わせたことから、令和2年度の利用実績なし。
今後の展開	常設展示室にハンズオン展示コーナーを新設するとともに、新たな触察用土器模造品を製作し、さらなる充実を図る。ユニバーサルミュージアム推進のための調査研究として、ミュージアムエデュケーション研修へ参加する。

4 参考情報

事業の推進にあたり、総合支援学校や点字ボランティア団体に協力を依頼し、助言を受け意見交換を行った。

5 決算情報

(単位:円)

年度	R1	R2			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		5,300,000	5,251,950		48,050
主要な経費	委託料	5,300,000	5,251,950		48,050
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源 (基金繰入金)	5,300,000	5,200,000		
	一般財源		51,950		

事業名	美術作品修復事業			
予算区分	一般会計 教育費 社会教育費 美術館費			
総合計画の体系	第3章 第5節 生涯を通じた学ぶ機会の提供			
担当課名	美術館	開始年度	令和2年度	決算書 177頁～180頁

1 事業の概要・取組

概要	展示や外部の展覧会への貸出が困難を来している美術館の所蔵作品のなかから、とくに地域にゆかりの深い作者が制作した絵画を対象とし修復するもの。
令和2年度の主な取組	収蔵作品の点検、修復作品の選定及び処置方法等を決定のうえ、修復を委託し、年度末の所蔵品展にて修復された作品を陳列・公開した。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	日本画7点、洋画7点の計14点を修復した。
今後の展開	美術館の収蔵品には、手当てが必要とされる作品が依然として少なくないことから、継続的な修復事業を検討する。

3 施設の概要、計画等

令和2年度の成果詳細：

日本画

- 1 狩野芳崖《林和靖》、2 狩野晴皐《春秋山水図》、
- 3 狩野晴皐《観月図》、4 度会洞玉《群鶴図》、
- 5 松林桂月《富嶽図》※表具のみ、6 高島北海《水墨山水図》、
- 7 高島北海《秋山夕麗》

洋画

- 1 香月泰男《自転車》、2 香月泰男《霞草》、
- 3 香月泰男《柿の枝に月》、4 殿敷 侃《は1》、
- 5 殿敷 侃《ジュバン(釈妙昭信女B)》、6 古茂田守介《やさい》、
- 7 藤田嗣治《猫を抱く少女》※額のみ



高島北海《秋山夕麗》(修復後)

4 決算情報

(単位:円)

年度	R1	R2			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		2,000,000	1,999,800		200
主要な経費	美術作品修復	2,000,000	1,999,800		200
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源 (基金繰入金)	2,000,000	1,900,000		
	一般財源		99,800		

事業名	フッ化物洗口事業			
予算区分	一般会計 教育費 保健体育費 保健体育総務費			
総合計画の体系	第3章 第2節 一人ひとりの生き抜く力の育成			
担当課名	学校保健給食課	開始年度	令和2年度	決算書 179頁~180頁

1 事業の概要・取組

概要	市立小学校の児童の口腔環境衛生のため、フッ化物水溶液を用いた洗口を行うもの。保護者負担を無償化し、学校でのパブリックケアの一つとして取り組むことで、家庭の経済状況等に左右されずに、児童のむし歯予防への効果が期待できる。
令和2年度の主な取組	当該事業は、令和元年度まで実施していたフッ素塗布にかわり、令和2年度より開始した事業であるが、令和2年9月より、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の整った学校から順次実施し、市内全44小学校のうち43小学校が実施した。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	学校でのフッ化物洗口実施率				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R6年度)
目標値(%)			90.0%	90.0%	90.0%
実績値(%)			75.7%		
達成率(%)			84.1%		
評価(A~D)			C		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
 C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	新型コロナウイルス感染症の影響があったため、目標値を下回ったものの、令和元年度のフッ素塗布の実施率(54.1%)を上回った。
今後の展開	むし歯予防における、フッ化物洗口の有効性・有益性等を保護者に周知・説明し、実施率を上げていく。

4 参考情報

○対象者：市立小学校の希望者 ○実施頻度：週1回 ○保護者負担：なし ○小学生のむし歯り患率(令和元年度) ・下関市25.1% ・山口県24.8% ・全国21.7%
--

5 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2		
			予算現額	決算額	翌年度繰越額
事業費			5,300,000	4,104,381	1,195,619
主要な経費	医薬材料費		1,571,000	1,265,418	305,582
	委託料		1,307,000	1,306,800	200
	消耗品費等		2,422,000	1,532,163	889,837
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源 (基金繰入金)		5,000,000	4,000,000	
	一般財源		300,000	104,381	

事業名	スロージョギング推進事業				
予算区分	一般会計 教育費 保健体育費 体育振興費				
総合計画の体系	第1章 第1節 文化・スポーツの振興				
担当課名	スポーツ振興課	開始年度	平成30年度	決算書	179頁～180頁

1 事業の概要・取組

概要	運動初心者からマラソン愛好者まで、誰もが気軽に参加できるスロージョギング定例走行会の開催を通じて、スポーツ未実施者が、スポーツをするきっかけとするもの。
令和2年度の主な取組	スロージョギング定例走行会を年間11回開催し、延べ292人の参加があった。定例走行会は、スロージョギングの基本理論から実技指導、レベル別練習をおこなった。また、3月には1年間の集大成としてスロージョギング大会を開催し、22人が参加し定例走行会の成果を発揮し全員完走した。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	定例会や講習会の参加者数				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R6年度)
目標値(人)	800	500	500	500	500
実績値(人)	228	406	314		
達成率(%)	28.5%	81.2%	62.8%		
評価(A～D)	D	C	D		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
 C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	新型コロナウイルス感染症の影響があり実績値は目標を下回ったが、感染症対策を講じて実施したことで、コロナ禍においてもスポーツをするきっかけとなるなど一定の成果をあげた。
今後の展開	今後もスロージョギング定例走行会を開催し、引き続きスポーツ未実施者がスポーツをするきっかけとなる機会を提供する。また、定例走行会の開催について市の広報媒体(FB等)を通じて積極的に広報していく。

4 参考情報

スロージョギング参加者のステップアップ 運動初心者・未実施者→ウォーキング愛好者(維新海峡ウォークに挑戦)→ジョギング愛好者→ランニング愛好者→マラソン愛好者(下関海響マラソンに挑戦)

5 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		265,000	300,000	254,500		45,500
主要な経費	委託料	265,000	300,000	254,500		45,500
財源	国庫・県支出金	132,000	150,000	127,000		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	133,000	150,000	127,500		

事業名	スポーツ合宿等誘致推進事業				
予算区分	一般会計 教育費 保健体育費 体育振興費				
総合計画の体系	第1章 第1節 文化・スポーツの振興				
担当課名	スポーツ振興課	開始年度	令和元年度	決算書	179頁～180頁

1 事業の概要・取組

概要	市民のスポーツ実施率の向上を目指し、施設の有効活用と競技の普及・定着を通して交流人口の拡大や地域の活性化につなげるため、市内の体育施設及び宿泊施設を利用したスポーツ合宿を行う団体に対し、宿泊費の一部を補助するもの。
令和2年度の主な取組	市内外の大学等へ呼びかけ、市内の体育施設や当該補助制度の周知を図った。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	延べ宿泊数				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R6年度)
目標値(泊)		1,000	1,100	1,100	1,100
実績値(泊)		663	244		
達成率(%)		66.3%	22.2%		
評価(A~D)		D	D		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
 C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ合宿等が減少する中、大学訪問等による周知を行うことで、春休みに合宿を行う3団体(124名)の誘致に繋がった。
今後の展開	今後も市内の高等学校や大学等へチラシを配付することで、スポーツ合宿補助制度の周知を図る。

4 参考情報

【補助対象者】	①スポーツ団体 小学生、中学生、高校生、大学生及び社会人が所属する運動部・運動団体 ②トップスポーツ団体 2020東京オリンピック・パラリンピック実施競技に係る全日本強化指定選手及び各国代表が所属する運動部・運動団体
---------	--

5 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		663,000	365,000	300,000		65,000
主要な経費	補助金	663,000	365,000	300,000		65,000
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	663,000	365,000	300,000		

事業名	夢ヶ丘公園テニスコート照明灯改修事業			
予算区分	一般会計 教育費 保健体育費 体育施設費			
総合計画の体系	第1章 第1節 文化・スポーツの振興			
担当課名	スポーツ振興課	開始年度	令和2年度	決算書 179頁～182頁


1 事業の概要・取組

概要	夢ヶ丘公園テニスコート照明灯は老朽化が著しく、うち1基は破断・落下している状況に加え、安定器は製造終了により修繕ができず、水銀灯は生産及び輸入が令和2年をもって禁止されることから、LED照明に更新するもの。
令和2年度の主な取組	照明灯(15基、24灯、水銀灯、各1000W)をLED照明へ更新した。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	LED照明への更新により、コロナ禍以前の同期と比較し、電気代が削減された。また、照明灯の破断・落下により、休止していたDコートの夜間使用を再開させた。
今後の展開	事業完了のため施設使用を再開。

3 施設の概要、計画等

<p>○施設概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設：昭和63年 ・延べ面積：2,888㎡(砂入人工芝コート4面) ・照明灯：水銀灯MT1000B(1000W)、15基、24灯 <p>○事業概要等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業年度：令和2年度 ・工事内容：電気設備工事(LED照明への更新) ・工期：令和2年11月9日から令和3年3月8日まで 		
--	--	---

4 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			28,000,000	22,295,847		5,704,153
主要な経費	工事請負費		27,300,000	21,912,000		5,388,000
	事務費		700,000	383,847		316,153
財源	国庫・県支出金		13,650,000	10,956,000		
	市債		12,900,000	10,200,000		
	その他特定財源					
	一般財源		1,450,000	1,139,847		